

 評価のポイント

CL- II .ニーズを捉える力（共通）

[16-2] アルコール依存症患者へのケア事例

① アルコール依存症患者の退院支援について説明してください

退院前に本人、家族、職場や行政などの関係者を交え、合同面談を実施し退院後の方向性を話し合う必要があります。その際には退院後の住居や外来通院先（アルコール専門外来、身体科外来）、自助グループ参加などの治療状況だけでなく、職場復帰の方法や家族との調整も行っていきます。退院後に安心して治療を継続していくためにも、経済状況や自立支援などのサービス利用についても確認していきましょう。

② アルコール依存症患者への関わり方のポイントについて説明してください

治療を継続していくうえで、①患者様がいちばん困っているところ、援助してほしいところは何なのか、②治療のモチベーションにかかわる部分はどこなのか、③断酒継続するために必要なものは何かを常に意識して関わっていくとよいでしょう。

治療は医療者が決めるものではありません。患者様と目標を一緒に考え、どうすれば達成できるのか、自助グループを含めて酒無しでの体験学習をしています。そして様々な選択肢のなかから、飲む飲まないも含めて患者様自身に決めてもらう。自己選択・自己責任への援助という視点で関わると良いでしょう。